

2024年3月1日

報道機関 各位

生成 AI を利用した模擬患者アバターで 医学生の実践力育成のサポートを目指す

長崎大学情報データ科学部 小林透教授の研究グループと株式会社システック井上（代表:井上 達氏）は、長崎大学医学部医学科 川尻真也准教授の協力のもと、生成 AI を利用した模擬患者アバターによる医療面接シミュレーション環境に関する共同研究を開始します。

「模擬患者」とは、医学生のために患者役を演じ、事前に設定されたシナリオに基づいて、問診などの練習相手をする人のことを指します。医師が患者とのやりとり（問診などの医療面接）を学ぶには、患者の話を受け止め、理解したうえで、次の質問を投げかけるなどのコミュニケーションスキルが欠かせません。これは講義による知識の習得だけではなく、実践的な体験学習によって得られるものであり、模擬患者にご協力いただく医療面接演習は、医学生の効果的な教育につながっています。

一方で、模擬患者には実際の患者と同じような症状を再現することや、シナリオに関する理解などが求められており、本学を始め各医療教育機関では模擬患者の養成や確保が難しく、大きな課題になっています。さらに、模擬患者が対応できる疾患の種類が限られている場合も多く、様々な疾患を包括的にカバーすることは難しいという課題も存在しています。

これらの課題を解決するために、模擬患者の代わりとなる生成 AI を利用した模擬患者アバターに関する研究を行います。これにより、模擬患者が再現することが難しい多種多様な疾患や、様々な場面を想定した演習を実施することが可能となります。さらに、演習の機会が限られている地方の医学生や若手研修医の実践力育成に寄与することが期待されます。

については、以下の日時で、詳細の説明会、及びプロトタイプによるデモンストレーションを実施します。何かと話題の生成 AI の医療現場への新たな活用について、ぜひ取材ください。なお、取材の申し込みの際は、事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

【日時】3月19日（火）10:00～11:00（受付 9:30～）

【会場】長崎大学文教キャンパス、工学部一号館 2F 大会議室（長崎市文教町 1-14）

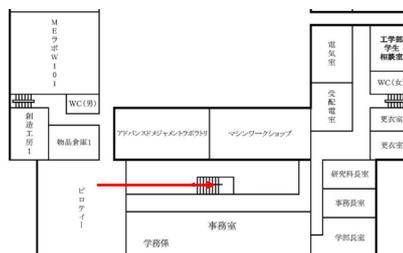
【内容】

- ① 模擬患者アバターの概要説明（小林透教授）
- ② デモンストレーション（株式会社システック井上 遠山修平氏）
- ③ 質疑応答

【開催場所案内】



工学研究科1号館 1階



工学研究科1号館 2階



【参考】

小林透研究室ウェブサイト

URL : <http://www.cis.nagasaki-u.ac.jp/~toru/src/>

二次元コード :



【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 情報データ科学部 小林透研究室

担当 : 松田 TEL : 095-819-2577

Email : m.matsuda@nagasaki-u.ac.jp

【別添資料】

医学生トレーニング用模擬患者アバター

～ AIを利用した模擬患者参加型演習 ～



医学教育は医学に関する知識習得とあわせて、
問題解決のための実践力習得が必要とされている

実践力を身に付けるためには、
模擬患者参加型の演習が有効である

しかし・・・

模擬患者の養成は
容易ではない

多様な疾患や状況を
網羅的にカバーすることは難しい

AIを利用した模擬患者により解決

■ イメージ

今日は、どのような症状で
お越しになられたのですか？



田中太郎さん 26歳 システムエンジニア
疾患：肺炎